



けんぷファー?!
③

【登場人物紹介】



こぼ（青）：♀・主人公・銃使い・B型・バイト先の女の子、あやののことに気に掛けている。普段は口数が少なくクールだが、変身後は逆転しよくしゃべるようになる、そしてぱっちり目になる。男には興味がないらしいが最近どうも高橋の熱意に押されかけていて、本人的にはやれやれという感じ。（慣れってやつですかね？）（笑）バイト先に移動してきた、ともみんに心がうたれ気味に...！

髪の色：変身前は黒。

変身後は黒に2本白いメッシュが入る。

パートナーアニマル：ケロロ



あい（青）：♀・こばの親友・魔法使い・B型・なんか小動物系の癒し系っぽい人。おつちよこちよいで鈍く、争い事はきらい。思いやりがあり優しいがオカルト傾向があり、ケンに女装をさせてみたいというひそかな願望を抱いている。ケンに好意を持たれているということにあまり気が付いていない。変身し、アイになると性格が活気的な男っぽくなり、体力も頭の回転も良くなる。「俺」口調になる。後者は高橋をつぶしたいと思っている。

髪の色：変身前:黒
変身後:オレンジ（左）

パートナーアニマル：キイロイトリ



あやの（赤）：♀・味方・魔法使い・B型・一人称は「僕」。こぼのバイト先の1つ年下の女の子・とてもわがままで自分勝手なところが激しい・人を信じなかったが、こぼとあいの想いの強さに心を動かされた。ぬいぐるみよりも「Nじま」と現実世界でいわれている声優を愛しているが、この物語とはなんの関係もありません（笑）こぼにたてつくともみんのことが大嫌いらしく、会いたくないのでバイトを最近よく休んでいる。自称ニートの生活をしている。

髪の色：変身前は黒。

変身後は赤になる。

パートナーアニマル：なし



ケン（赤）：♂・味方・鎖付き剣使い・大学の男友達・O型・高橋の相棒・
すごいマイペースで少し鈍いところがある。物語中のやられ役？（笑）
あいちゃんに気持ちを伝えようと頑張っているが、よくアイに邪魔されて
終わる。そしてアイにいじられているが本人は特に動じていない。変身後
は美しいおねえさんになり（♀）、一人称も「私」になる。

髪の色：変身前は黒。

変身後も黒だがロングになる。女体化（左）

パートナーアニマル：クロ（ニャンパイア）



高橋：♂・日本刀のような剣使い・大学の男友達、通称（自称？）部長さん・AB型・ケンの相棒・こばに無視され可哀想な役回しにされているがくじけない。それでもこばにつっかかるが、気持ちに気付いてくれなく空振りしている。でも最近はなんとなくいい感じになった！と自分に自己暗示をかけている。実はモデレーターであり、あやのとは過去に会っていた。アイのことがうざいらしい。

髪の色：黒 たまに茶色



ともみん：♀・機関銃使い・こぼのバイト先の先輩。名字は高橋だが、部長さんとはまったくの無関係である。ちなみにB型。

こぼのことが好きな、百合傾向をお持ちのようで、あやのとは馬が合わない。赤ふちのメガネ。(隠れアニオタ)

結構おっとり・天然のように見えるが、変身後は嘘のようにキャラ崩壊するのだ！！

趣味は変なものが好きで、ちょっと変わった人である。

髪の色：黒

変身後は白になる。



#1 新たなる敵?! 謎のケンぷファー?!

遠い宇宙の先にある

ひとつの惑星で

赤い力と青い力の2つの力による、争いが起きていた

勝った者が惑星の主となる

2つの力は戦い続けた

しかし…

一向に勝負はつかなかった。

争いの最中、2つの力の真ん中に白い力現れこう言った。

「他の惑星の者に、勝敗をつけさせろ」

…と

それが、選ばれし者

ケンぷファー

…

東京〇芸大学、食堂。

外で、ジジジジジ…とかミンミンと蝉が鳴いている

あい「…う…ううー」

ケン「…暑い……………」

あい「…………しぬ…」

ケン「……生きろー…寝たら…終わり…だ…」

あい「雪山か…(ボツ←力のないツッコミ) …ああー…早く…かき氷が…」

ケン「く……こうなったら…雪山ごと食べてやる…」(謎)

食堂のテーブルにべったり上半身をくっつけてくたばってる2人
最初は冷たかったテーブルのひんやり感が、もうすでにぬるま湯みたいになっている…

チリン…と食堂に飾ってある風鈴が鳴る

こば「2人とも、大丈夫なわけ？」

トレーに、赤と緑と青のかき氷を3つのせたのを持ったこばが来た

あい「きた！！」 がッ！←上半身を起こした音

ケン「待ってました！」 がッ！←この人も（笑）

こば「…全く。ほら…早く食べないと溶け…」

あい「…！」←もくもくと食ってる

ケン「…！！」←もくもくと食ってる

こば「…はあ（笑）」←青のかき氷をゆっくり食べてる

あい「ああ…生き返った！」

ケン「あ！あいちゃんの舌が赤い！！」

あい「なに！（笑）ケンちゃんだって緑だよ～？…ベロみどり！」

ケン「じゃあ、あいちゃんはベロレッド！」

あい「ベログリーン！」

こば「…ばかか…こいつらは…（笑）」

あい「ベロブルーこば！」

こば「変なあだ名つけてなくていいから…。あ…」

高橋「よう！皆さんおそろいで！」

こば「高橋くん…」

高橋はケンの隣に座る。

高橋「やー…！やーっとロケットミサイルのデザインが完成したんだぜ！」

ケン「高橋くん、課題頑張ってるねえ！♪」←まだ食ってる

あい「高橋くんはベロなんだろう？？あ、レッド、ブルー、グリーンは即出だからアウトね！」

高橋「…はあ？（笑）」←ついていけない人

ケン「イエローかピンクがいいんじゃないかな！？」

高橋「…またこいつらは変なことを… (苦笑)」

こば「…高橋イエロー」←ノッてきた人

あい「こば！レモンだよ！！ (笑)」

こば「わかった。高橋くん。」

高橋「ん?!なんだ?」

こば「かき氷…食べない?」

高橋「食べる食べる!」←と言うより、こばが話し掛けてくれて嬉しくてたまらない人 (笑)

こば「…ふん (笑)」 (訳: わかったよ。しょうがないから買いに行つてやるよ)

こばは席を立った。

—————放課後

4人で駅前をぶらぶらと歩く…

あい「…結局ベロイエローにならなかったねえ」

ケン「きっとレモンシロップが少ないからだよ! もっといっぱいかけないと!」

高橋「…なあ (笑) さっきからあの2人はなんの話をしてんだ? (笑)」

こば「…ベロレンジャー的な」

高橋「わかんねえよ! (笑) しかもなんだ!? そのグロテスクなネーミングセンス! 他にもっとあるだろ! 可愛らしいのが!? (笑) あと俺はイエローなのか!? (笑)」

こば「ああまあね」←適当 (笑)

高橋「聞ってる!? (笑) ねえ!! こば!? (笑)」

知「はっ! 何か嫌な予感がするであります!!」

こば「えっ?!」

キ「クル…」

あい「な、なにが?!」

加「殺気…」

ケン「ちょ！ちょっと待って！…戦いは終わったはずじゃ…」

高橋「…まさか…」

ケン「高橋くん?!何か知ってるの?!」

高橋「…いや、でもそんなはずは…、っ！」

タタタタタタ！！と縦断が地面のコンクリートを直撃し、バァァン！と爆発した！！

こば「…な！なんだ…?!」

逆光を浴びてよく見えないが、とても大きく頑丈そうな真っ黒な銃を構えた、白いポブショートヘアの眼鏡の女の子が、ビルの上に立っていた。バンダが光を反射させる

あい「…ケンぷファー?!…え…でも…」 バンダの色が白い…

ケン「…！白のケンぷファー?!」

眼鏡の子「…ふーん。なかなかやるじゃない? (笑)」

こば「…！いくよ！」

♪あい・こば・ケンの変身シーンは想像におまかせします♥

アイ「貴様！いきなり何する気だ!!」

眼鏡の子「…私は、裏切りものを潰しにきたんですよ。ねえ…?」

ニヤリとすると高橋を見た!?

高橋「…！」

こば「どういうこと…！」

眼鏡の子「説明してあげてもかまわないけど? (笑) …モデレーターとしての役割を果たせなかった…。役立つの男を潰しにきたのよ…」

ケン「違うよ！高橋くんは…高橋くんは間違っていない！」

アイ「間違ってるのはおまえの方だろ！バリ眼鏡！」ビッ←指さした音

眼鏡の子「…バリ眼鏡え?あんた、潰されたいわけ？」

アイ「ふざケンな! (笑) こっちが抹消してやるっ!!…てああ!!」

バツゴォウン！！ アイが火の玉を発射！！

バツと眼鏡の子が飛ぶ！ 火の玉はビルを破壊した！！ガラガラと崩れ落ちる…

眼鏡の子「そんなちんけな攻撃…効かねえんだよクズが！」

タタタタタ！！

アイ「っ！」

パキパキゅんパキゅん！←鎖で銃弾を弾き返した音

ケン「…アイちゃん！大丈夫！？」

アイ「ナイス、ケン！」

ケン「うん！ようし…一気にやりますか…！！」

バツ！と鎖つき剣を投げつけた！！

眼鏡の子「ちっ！」←かわした！

アイ「ベロレンジャーなめんな！？（笑）」

こぼ「今だっ！」

バンッバンッバンッ！！ パッシュ！

こぼが放った銃弾が眼鏡のフレームをかすって眼鏡を弾き飛ばした！

眼鏡の子「っ！…今日はこのくらいにしといてやる！…」

バツ！と飛び去った！！

こぼ「…はあ、はあ…なんだったんだろ…」

アイ「…白の…ケンぷファー…？」

ケン「大学生活にまたスリルな日々がっ…！（笑）」

アイ「そーゆー問題か（笑）」ビッシー←ツッコミ（笑）

高橋「……。」←深刻そうな顔をしてる

こぼ「…高橋くん…」

♪ワンウェイ、迷走してく本命ららららーぶ♪

次回予告！（笑）

ケン「よし！この次回予告コーナーは僕が奪い取るっ！決めた！！」

こぼ「とか言ってる人はさておき、白のケンぷファーって…なんだ？（笑）」

あい「私たちの真似をしてるだけとか!？」

こば「ち（笑）」←舌打ちした音

あやの「次回は僕の出番だ!…は?お前誰よ（^q^）新しい社員だと…僕はお払い箱ですか?←」

次回!ケンぷファー?!

#2 あやの VS ともみん

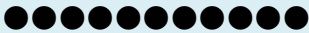
あい「見ないと呪い、かけちゃうぞ☆」

ケン「くそうー…次こそは!（笑）」

バイト先。

あやの「はは…聞いてよ、こば様。僕、接客態度が悪い…ってさ（笑）だよねー…!」

こば「そ…そうなんだ…（わからなくはないけど…。だって…）」



こばと一緒にレジいるときは…

こば「いらっしゃいませー」

あやの「ち。…来んなよ。他のレジ行けば?」←メールうってる

またある時は…

ガチャ!（←部屋のドアが開いた音）

こば「あ、あやの様!」

あやの「あはははー遅刻しちゃったあー☆」

3時間の遅刻…

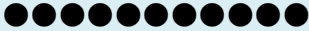
またある時は…

店長「…というわけで、次のシフトは明後日の…」

あやの「やだ」

店長「……。あのねえ、きみ…」

あやの「うるさい。沈没しろ」



こば「(…これだもんな…) (笑)」

あやの「店長、新しいやつ呼びやがった。こんなとこ辞めてやろうかな…」

こば「そ！そんな…あやの様…っ」

ガチャ…。とドアが開いて「あのう…失礼しまーす」と、部屋に誰かが入ってきた。

ショートボブのサラサラの黒髪。穏やかそうな目が、流れるようにあやのを見て、こばを見た。

あやの「…きたか。」

こば「…？」

ともみん「あ、よろしくお願ひします！今日からこちらに移動してきました。高橋ともみです」

♪今日の運勢は一誰が決めてるの♪

#2 あやの VS ともみん

…

ともみん「じゃあこばは、私より3個下なんだあ！」

こば「はっ、はい！そうです…！あの…ともみさん…」

ともみん「あはは（笑）ともみんでいいよー。これからもよろしくね！」

あやの「…ふん」

あやのはつまらなそうな顔をして、2人の後ろを歩いている 猫背気味になりながら2人の背中を覗む。

ともみんが振り返った。

ともみん「あやのちゃんも一緒にお話しよ？」

あやの「うわ、やめて。…背筋が…っ。…鳥肌が…。あやのちゃんとか言うな！」

ともみん「なんで？あやのちゃんって可愛いのに…。ねえ、こば？（ニョッ）」

こば「は…はいー…そうですねー…（可愛い…ともみん）」

あやの「可愛くないっ！ばか！」

ドンッと2人の真ん中を押し退けるとスタスタと早足で行ってしまった。

こば「あ！あやの様…」

ともみん「あやの様？…そう呼んでるの？」

こば「はい…。そうなんです…。あの子、ちょっと気難しくて…」

ともみん「そう…。……あやのちゃん…か。」

ともみんはただ、先に行くあやのの背中を見つめていた。

——数日後 大学の食堂。

あやの「信じらんない。もうやだ。すべてが嫌だ！！」

バンッ！とテーブルにひれ伏す。 コップに入った緑茶がしぶきをとばす！

あい「ともみんさんか…。まあまあ…（笑）あやの氏…（笑）」

ガバッ！と上半身を起き上がらせるあやの。

あやの「あいちゃん…。僕はね…、もう必要ないんだ。あんの、くそドンキ！店長爆発しろ。あんな楽しそうな、こば様、初めて見たっ！！」

バンッ！←またひれ伏した音 コップの形どった液体の緑茶が一瞬、空中に浮いた。

あい「あやの氏ー…」

(今の時間は、こぼ、バイトだからなあ。ともみさんと一緒にレジや
てるのかなあー)

ケン「あいちゃん～！あ、今日は、あやのちゃんもいるのかー！（笑）久
しぶりー！」

ニコニコしながらケンがやってきた。

高橋「あやのか。どうした？」

あやの「…ああん？」

ギロっとケンと高橋を睨み付けると、また顔をテーブルにくっつけた

ケン「ひっ？！ぼ、僕何か悪いことでもっ？！…（笑）」

高橋「こ…こええぞ…あやの…（笑）」

あい「あやの氏、今、ものすごく不機嫌なの…（苦笑）バイト先のことで
ね…」

ケン「そ、そうだったのか…！」

高橋「あまり考えこむなよ…？」

あやの「爆発しろ爆発しろ爆発しろ爆発しろ爆発しろ高橋…」←つぶやい
てる

高橋「お！俺かよ？！（笑）そんな！まだ根に持ってるのか？！あやの…
っ！」

あやの「…違う。お前じゃない。……」

高橋「そ、そうか。別人か！よかった…（ホッ…）」

ケン「と、とにかくー！そろそろ帰らない？（笑）ちょっと寄ってこうよ！
♪」

あい「どこに？」

ケン「ん♪…ついてくればわかるよ～♪」

あい「…？」

で、バイト先。

あやの「…なんで、ここなんだ」 あやのがもう不機嫌すぎてやばいくらい苛立ってる

片足貧乏ゆすり開始！

ケン「こばちゃんのバイト先！一回来てみたかったんだよねー！（笑）」

あやの「ふざケンな！高倉！ただの趣味じゃないかっ！」ビシ←ケンを指さした音

ケン「う？ん？（笑）あやのちゃんもゆっくり買い物していいよ～♪」←鈍い

あやの「バイト先で買えるかああ！…っーか、レジ行けばいるし…。こば様と…あいつが…（ホッ）」

あい「（あやの氏…。ケンちゃん、何か考えがあるのかな…）」

高橋「おいおいおいー！すげえぜ！プリキュアの衣装が！ほら！5人分！おい、猫女！」

あい「？」

高橋「あい！お前だ。猫女。おーい！着てみろ！…そうだなあ、お前は…ピンクかな！」

あい「えっ…?!」

ケン「…むうっ…。」←あいと高橋の方を睨んでる…

高橋「んで、こばには赤を。あ、青もいいかなあ！なら、赤はあやので、緑がケンだ！…黄色が余るな…」

あやの「ふざけるな高橋（笑）誰が着るか！（笑）」

ケン「ごもっともですっ！というか！！高橋くんっ！なんで僕が緑なのっ?!」

ケンはさりげなく、あいの腕を引っ張り、グイッと寄せた。

あい「ケ…ケン…ちゃん…?!」

高橋「ああ、ほら、ケンは変身後、緑っぽいし！」

ケン「意味がわからないんだけど！（笑）」

とか言いながら、ギョウとあいを抱きしめてる…（無意識?）

あい「い、痛いよ…ケンちゃん…」

あやの「…ふん…。…あ。」

あやのがチラッとレジの方をみた。そこには、ともみんとこばがいた。楽しそうに笑ってる…。

あやの「…。」

高橋「つか、だから悪かったって！…な?!ケン！」

ケン「…いーもんいーもん。緑なんてやっただげない!! (拗ねてる)」

あやの「…ごめん、僕、やっぱり帰る…」

あい「あ!あやの氏っ…！」

バッとケンからはなれ、あやのを追う!

ケン「ああっ?!…あいちゃん… (涙) く…。もう!高橋くんのせいだからね!ミスター高橋め!」(泣きそう)

高橋「なんでだよ!?(笑) てか、何泣きそうになってんだよ!ケン! (笑)」

あい「待って!あやの氏!」

ガシッとあやのの腕を掴む!

あやの「離せ!…あいつ…ちゃんっ!は一な一せええ!!」

こば「…あやの様?!…あいちゃん?!」

レジの近くでわーわー言ってるあいとあやのを見つけたこば。

ともみん「どうかしたの?」

こば「あ!ちょっと、失礼します…」

と言い、レジを離れ、あいとあやののもめてる中に入る。

こば「ちょっと、2人とも!…というかなんであいちゃんがここに…」

あい「私だけじゃないよ…? (笑)」

こば「…へ?」

なんか泣きそうなケンとそれを慰めようと頑張って苦笑いしながら平謝りしてる高橋がこっちに来る。

こば「…なんで…こいつらもいるんだ… (笑)」

あい「いやあ…ケンちゃんが来ようって… (笑)」

ケン「あ…こばしゃん…ぐすっ」

こば「なんで泣いてるの？（笑）」

高橋「さあな！汗でも目に入ったんじゃない？（笑）」

ケン「うっ…違うもん…。あれ…あの人が噂の…ともみん…ちゃん？…」

ごしごしと目を擦りながらレジにいるともみんを見て言った。

あやの「…。」

こば「そうだよ！ともみんのことがもうすでに皆に広まってることがびっくりだけど…（笑）」

あい「ともみんさん…おっとりしてそうー…！」

ケン「さあ、あやのちゃん！ちゃんと向き合って話してみるんだ！」

あやの「っ…！余計なことするなあっ！！」

ともみん「?!」

あやのの声はレジにいるともみんにまで聞こえた。

あやの「僕の…僕の気持ちも…知らないくせに…！」

ケン「…！ご、ごめん。…でも！逃げてちゃだめだよ！ちゃんと…何事も向き合わなくちゃ始まらない…」

あやの「うるさい！逃げてない！高倉には関係ないだろ！僕は僕なりのやり方がある！！…何も…始まらないし、どうだっていい！！ほっといてくれっ！！」

ともみん「あの…。店内で喧嘩はしないでくれますか？お客様…と、あやのちゃん」

あやの「…。」

キッとともみんを睨み付ける…

ケン「…あやのちゃん…」

あい「(そうか…ケンちゃんは、あやの氏ともみんをあわせる目的でここに…)」

ともみん「どうかしたの？あやのちゃん…最近来ないけど、もうここ辞めちゃったの…？」

少し潤んだ寂しそうな目であやのを見る

あい「え?! (辞めた…?!)」

あやの「ふざけるな! 辞めた…だと?…勝手に決め付けるな! たまたま連休なだけだ!」

ケン「(びっくりした…)」

あい「(素で辞めたのかと思った…)」

ともみんは、あやのに近づき耳元に唇を近付ける…

ともみん「そ…。ふふ (笑) まあせいぜい頑張ってるね…。あやのちゃん…?

♪」(ホッ…)

あやの「…!」(ゾク…)

ともみん「こば、レジ戻らないと〜! お客さん、来ちゃうよ?」

こば「はっ、はい!…じゃあね、皆!」

あい「うっ、うん…!」

ともみんとこばはレジに戻って行った。

…… 外。

ケン「いやーそれにしても! とみんちゃんはおしとやかだし、しっかりしてるね! ♪」

あやの「……。」←下むいてる

あい「まあ、私たちより年上だからね… (笑) !」

高橋「さあて…んじゃまた明日な!」

ケン「ん! またねー! 高橋くん!」

あい「じゃ! 私とあやの氏はこっちだから…」

と言い、駅の改札前に立ち止まる。

ケン「うん! 2人とも、気を付けて帰ってね!」

あい「送ってくれて、ありがとう! (ニコ)」

あやのは無言のまま、あいと一緒に改札に入った。

♪ワンウェイ、迷走してく本命ららららーぶ♪

次回予告！

ケン「おおう…！次回予告コーナーに誰もいないっ！チャンス！！…えーと？次回は…！」

こば「5人の仲がばらばらに…？」

あい「ええ？！このままじゃケンぷファー解散だよ?!」

ケン「ちょ！（笑）まっ…」

あやの「ともみんのばか…」

高橋「…まじ俺、躁鬱病寸前…」

こば「ともみん可愛かったなあ…」

あい「なんとかしなきゃ…!!」

ケン「…あのう…（笑）」

次回。ケンぷファー？！

#3 バラける5人?! 修復の提案

あい「見ないと呪い、かけちゃうぞ☆」

ケン「くっ…。皆！ふせんの一番後ろを破がしちゃだめだよっ！」←もうヤケ（笑）

この続きは
製品版にて！

裏の美術倉庫 佐藤あい 「けんぷ?!3」 SAMPLE

おためしかっ!?!?!?!?!